

『ここだけの話』

2020/2 Vol.47 発行：浦安駅前整体院/鍼灸院 047-355-4265

・風邪に気を付けましょう月

気が付いたらもう

2月…(^-^;

FROM



西念純一

2020年の1月も気が付けばもう終わり今年も1/12が過ぎ去ってしまいました。

(これは毎年言ってますね…(^-^;)

それにしてもこの所時が過ぎるのがとつともなく速く感じます。

これは毎日が充実しているからなのでしょうか？それとも何も考えていないだけでしょうか…？(笑)

しかしそうこうしているうちに、あっという間に6月に浦安の三社祭が来て、オリンピックを迎え、もう年末…ってなりかねないですね…(笑)。

何気なく過ぎ去ったという風にならない様に今から日々を楽しみながら過ごしていきたいと思います。

さて、1月後半から中国など『春節』が始まりました。日本でも新型コロナウイルスによる肺炎が蔓延しようとしております。

多くの方が日本を始め色々な国に旅行されているのでどうしても被害は拡大してしまいます。

しかし旅行に来てもらわないと日本の企業の売上は下がる…。来たら来たらで新型コロナウイルスによる肺炎が蔓延してしまう。これは本当に難しい問題ですね。

いつも思う事なのですが、日本はやっぱりそういう対応が遅いのではないかと感じてしまいます。

くだらないという語弊があるかもしれませんが、どうでも良い議論よりもっと早急に決めなければならぬことが沢山あるのではないかといつも思います。

政府には優先順位をしっかりと決めて取り組んで欲しいと思います(´-`)

今回のニューズレターの冒頭は何か『ここだけの話』っぽい感じになりました。。。これからは社会派な感じ?!で行こうかと思いましたが、今まで通り行きたいと思います。明るいニュースが沢山欲しいですね~(^^)

・動体視力と運転?!

先日スマホを見ていたらこんな記事がありました。その名も低速走行「10キロおじさん」

これだけ見ると何のことかと思いますが、道路を車で5キロ~10キロのノロノロスピードで走っている迷惑なドライバーの話なのです。

ただでさえ遅くて迷惑なのに、抜かそうとするとクラクションを激しく鳴らして威嚇するという超が付くほど不届きもの…。

それをなんと約10年も続けているというのですからビックリです(°Д°)。

高速道路とかは最低速度が定められておりますが、一般道では設けられていないので、追い越し禁止車線で抜かそうものなら違反切符を切られてしまうらしいのです。

しかし、これは「逆あおり運転」と言える悪質な運転らしく、一応取り締まることは出来る様なのですが、10年もノロノロ運転でこんな記事が出る位ですから未だに取り締まりはされていないのでしょうか。

そんな「10キロおじさん」。もしかしたら動体視力が悪くなっていてノロノロ運転をしているのではないかな？

歳を重ねると速いスピードに目がついていかないと言いますし…。ん~どうなのでしょう？

ちなみに動体視力のピークは10代後半。40代以降は急激に低下していきます。

野球選手などスポーツ選手などが引退する時に体力の限界です。という事をよく耳にしますが(最近はあまり言わないかな?)、もちろん本当に若い選手に比べて体が付いていけないという事もあります。動体視力の低下でボールに目がついて行かず機敏に動くことが困難となり体力の衰えと勘違いをしまい、もうプロではやっていけない…というなることが多いのです。

お年寄りの方が立ち上がろうとしたときに足元がフラフラしてしまうのも足腰の筋力低下と思われるがちですが、この動体視力の低下の場合が多いそうなの

です。もしかしら冒頭の「10 キロおじさん」も地域の方に好きで嫌がらせをしているわけではなく、動体視力の低下によって速いスピードで走るのが怖くなってしまった結果「10 キロおじさん」になってしまったのかもしれないね。でもそんな運転する位なら車になんて乗らなければいいのにと私は思います(´ー´)
現在高齢者ドライバーの事故が多発しているので早く自動運転化になればと思いますね～！！



・今年の趣味☆彡

瞬殺で過ぎ去った1月。皆さんは何かやりましたか？

何気なく過ごしていると時間が過ぎ去ってしまうので、日々の生活にハリを作る為にも今年は目標があります。

『月に一冊本を読む』これが私の目標です。元々本は大好きで東野圭吾さんを始め、池井戸潤さんや山崎豊子さんなどの小説やたまにビジネス書を読んだりしておりました。しかし、昨年は数える程度しか読めません…(T_T)

仕事や日々の生活に忙殺されていたのかは分かりませんが、本を読むこと自体忘れていたのです。

都内の整体院で働いている時は通勤時間に本を読むのが本当に待ち遠しくて仕方がなかった位好きだったのに…。人って変わるものです…。

ですので、今年はノルマ的な感じで『月に一冊』を掲げていきたいと思います。

ちなみに1月は池井戸潤さんの【シャイロックの子供たち】を読みました。内容が気になる方は是非私にお声がけくださいね(^_-)

さて、今月は初っ端から浦安マラソンが行われます。ご来院の方でも数人参加されます。そして我が治療院からも長谷川先生が参戦いたします。

走り終わった後すぐに施術が入っているのでその様子でどんなドラマが繰り広げられたかわかると思います。

(たぶん来る人来る人にいやー大変でしたよ～って言っている気がするけど…)

私も来年は走ろうかな？って思っているけど結局走らず仕舞いで終わります。

ハーフはやっぱり未知の世界(笑)。

長谷川先生の様子を見ながら来年の参戦を考えてみます。←考えてみるって言うておきながらおそらく走らないでしょう(笑)。

取りあえず今年は本をしっかりと読む。これを軸に今年の仕事も趣味も頑張りたいと思っています。

皆さんのおススメの本があれば教えて下さいね！！

・編集後記

以前メールで連絡を頂いていた営業さんにちょっと気になることがあったので電話をしました。お話をしっかりと聞いて一度はお会いする約束をしたのですが、大半が電話で理解してしまった事とよくよく考えてみるとあまりうちにはニーズがなかったのでお断りしました。

しかし、その営業さんどうしても会って話したいと一点張りで電話を切らせてくれません。普段ならしつこい営業だと電話を切ってしまうのですが、こちらから電話した手前それも出来ず、ずっと電話で会うか会わないで押し問答。そんなやり取りを10回以上繰り返して何とか電話を切ってくれました。

ほっと胸をなでおろしているとまたその営業さんから電話が…。先輩営業マンに何か言われたのかまたどうしてもすぐに会って欲しいと懇願されました。

しかし、すぐに施術が入っているからと伝えたらではいつお電話すれば良いですかと再度お電話の約束を取り付けようとしてくるのです。

施術の時間が迫っていたので翌日の朝一ならと電話を切りその日を終わることが出来ました。

翌日…。指定した時間を少し過ぎて電話が鳴りました。やはり会って欲しいといったアポ取り電話…。

私の心は決まっていたのでしっかりとお断りをさせて頂きました。

やっとあのしつこい懇願される営業から解放されると思ったのですが、そのまた翌日に一本の電話が…。

お電話をしていたらその会社の別の営業マン。昨日自宅の会社の〇〇さんから電話を頂いてとても嫌な思いをしたことを伝えました。

そしたらその方そんな事があったのですか～と知らないそぶり…。絶対知っていて電話してきたくせにと内心思いましたが、ここはぐっと我慢して普通に対応しました。結局その方にもお断りをさせて頂いたのですが、あまりにもしつこい営業(特に泣き落とし…)は嫌いです。

私も元は営業マン。仕事を欲しいのは喉から手が出るほど分かります。しかし、あの営業はしつこくて私には合いませんでした。

営業って本当にその方のやり方や人の本質が出るのかなって思います。

自分もそんな施術者にならない様に人の振り見て我が振り直せと思ひこれからも頑張りたいと思います！！